

岡山市立操山公民館

中高生地域活動(主体的に取り組む)ボランティアグループ

みさ ON メンバーズ

1歳の誕生日を迎えました！（11月3日）



「天ノ川祭」
イベント企画運営で地域をつなぐ



「宿題大作戦」
長期休業中の子どもたちの居場所づくり



国際 RCE 会議の「スタート・レセプション」に参加
みさ ON の活動について英語で発表



就実大学×みさ ON メンバーズ
「おつきみ会」を共催

参加者の感想

- ・地域の方々と交流しながら、季節を感じられる行事に参加できてよかったです。2歳の娘も楽しむことができました。娘が大きくなった時、今度は、今日企画運営してくださったお兄さんお姉さんのように、皆を楽しませてくれる側になってくれたら良いなと思いました。
- ・子ども達が楽しそうでよかったです。初めて公民館に来ましたが、地域のことが少しあわかった気がして、参加してよかったです。ありがとうございました。

活動を始めて1年、中高生のメンバーも30名になりました。やってみたい企画で地域をつなぐ、世代間をつなぐ活動を増やしていきます。そして地域を担う若者が育っていきます。

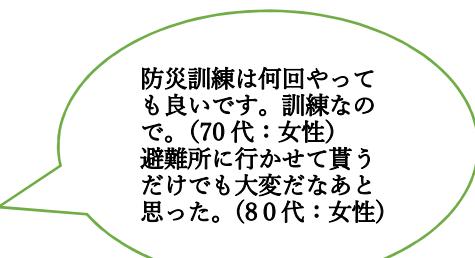
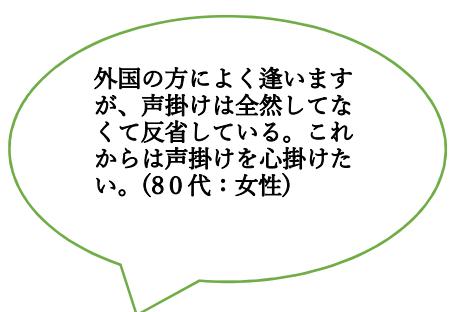
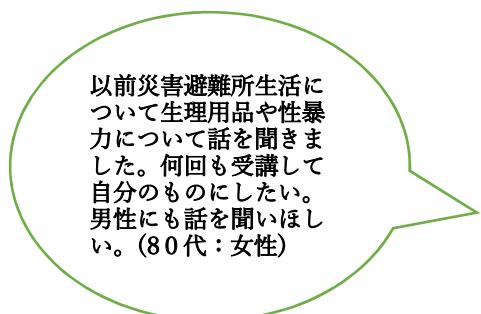
主催：岡山市立岡南公民館・さんかく岡山 共催：福島学区婦人会
令和7年度 岡山市男女共同参画大学「さんかくカレッジ」基礎コース

災害に強い地域をはぐくむ コミュニケーション

「ひとり暮らし言うてたけど、無事じゃろか?」「病院閉まつとるけど、薬は足りとるんかな?」「食べるもんは、間におうとるじゃろうか?」「赤ちゃんがおったなあ」…

災害が起きたとしたら、どなたの顔が思い浮かびますか？あなたは思い浮かべてもらえますか？普段の生活の中で、様々な人たちがコミュニケーションをとりやすい地域づくりをすすめていくことは、災害弱者を減少させることに役立つと考えています。

日 程	テ マ	講 師
1 9/12(金) 13:30～ 15:30	みんなつらいよ、避難所生活！ ～避難所で暮らす私を想像したら～	齊藤 容子さん 関西国際大学・ 客員教授
2 10/18(土) 13:30～ 15:30	どんどん人がやってくるよ！ ～避難所運営ゲーム『HUG』をしよう～	森田 靖さん 災害支援ネットワーク おかやま・世話人代表
3 11/14(金) 13:30～ 15:30	私たちも地域で暮らしているよ！ ～外国にルーツをもつ人たちのこと～	居場所づくり ネットワーク INE



避難所の運営は、これまで、特に女性や子育て家庭、外国人等の災害時要配慮者への配慮が不足してきたという現実があります。その原因是この避難所運営に女性等の視点が入らなかったことに起因しており、意思決定の場に女性等の参画が必要であることを強く訴えられたことが印象的でした。

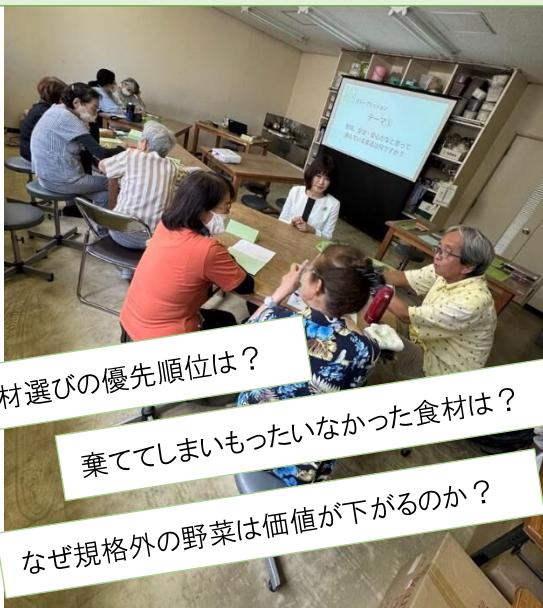
岡山市立岡西公民館

ハーモニアスライフ

～未来をつくる暮らしの選択～ 食農編

＜ねらい＞ 地球上に暮らす一人の人、一人の親、一人の生活者としてよりよい未来を創造するため、様々な価値観や選択肢の中で何を考え、どう生きればいいかを対話を通して模索し、自分が納得しつつも他者を侵害しない賢い選択ができるようになることをめざす。

＜第1回＞ 座学と対話 “食の安全と農業”



食材選びの優先順位は？
棄ててしまいもったいなかった食材は？
なぜ規格外の野菜は価値が下がるのか？

＜第2回＞ 座学と体験 “調味料”表示の見方とえらび方



家庭で常用している調味料を持ち寄り、食品表示の見方を学んだ。



食品添加物が多い醤油とそうでない醤油の味を比較した。

＜第3回＞ 調理実習 “規格外野菜”を使って調理をしてみよう



出荷されない形の悪い玉ねぎ。



＜効果＞ 食品ロスの課題を知り、その中でも規格外の野菜が出荷されずに棄てられる農業の実情を開拓するため消費者がすべき選択を学ぶことができていた。対話の場を設けることで、参加者同士の距離が早くから縮まり、助言や励まし合いが活発に行われたので、第3回の調理実習も始終良いムードだった。

緑のボランティア るんるん 花咲

令和4年度にグループができた「るんるん花咲」は
次々と新しいアイディアを出しながら楽しく活動しています。

◆ねらい◆

花の植え替えや緑のカーテンの設置など緑に囲まれ気持ちよく利用できる公民館になるよう活動しています。また、メンバーの知識や技術の向上、仲間づくりを目指しています。

花の植え替え

季節ごとに花の植え替えをしています。プランターだけでなく空いたスペースに花壇を作つて来館者や近くを通る人の目を楽しませています。



緑のカーテン

毎年、緑のカーテンを設置しています。ゴーヤだけでなく、前年、種が落ちたいろいろな植物でカーテンができます。



おいもの栽培

空いたスペースを耕してジャガイモやサツマイモを栽培しました。できたお芋は子ども食堂で使ってもらったり、講座で使ったりしています。



草抜き

月に1回のペースで草抜きをしています。年に1回企業が協力してくれたり、大学生がボランティアにきてくれます。



木守り

自分で管理したい木を選んで1年を通して世話をしています。そうすることで愛着がわき、活動日以外も様子を見に公民館に来てくれています。花が咲くとメンバーみんなで喜んでいます。



これから…

現在、8名のメンバーで活動しています。今後は現在、単発で協力してくれている企業や大学生と継続的に活動できるようにつながっていき、人の輪を広げたいです。また、メンバーも公民館の中だけにとどまらず、地域の中で活躍できるよう働きかけていきたいです。

コキアで リースづくり

公民館で育てたコキアを使ってクリスマスリースづくり教室を開催する予定です。



岡山市立 西大寺公民館

「ナツガク(楽&学)西大寺」

小学生向け 夏休み体験 事業×高校 生の企画

これまでNPO法人みんなの劇場・おかやまと共催で「夏休みフリー塾(2004~2024)」という小学生向けの体験活動と居場所づくりを行ってきましたが諸事情で共催が難しくなり、今後どうするか検討していたところ、

県立西大寺高等学校と共に開催する話を持ち上りました。高校生たちが考え行動し地域と関わっていく場として、企画運営力を磨く場としても期待されています。

高校生だけでなく、中学生ボランティア、公民館クラブ生や地域の団体との連携も同時に進行しています。子どもたち、関わる学生・大人たちが豊かな体験と学びの時間をもてるよう今後も取り組んでいく予定です。



ZUMBAの体験(公民館クラブ)

【小学生の感想】

- ・高校生のダンスがすごかった。もっとやってみたい。
- ・(夏休みの宿題を)わかりやすくおしえてくれてうれしかった。
- ・家ですることとはちがうこと(絵の描き方)がまなべた!

【高校生の感想】

- ・小学生と普段は関わることがないので、ことばの選び方や伝え方が難しかった。
- ・最初は緊張したけど、子供たちと打ち解けて一緒に活動できたので、よい経験になった。
- ・将来教師になりたい人はよい経験ができると思う。



西大寺高校書道部の皆さんに
コツを教えてもらいました

【ねらい】

- ・中高生が活躍できる場をつくる
- ・企画運営をすることで達成感を得る
- ・地域の役に立つ&郷土愛を持つ
- ・講座の参加者も企画者も充実した時間を持つ

公民館は子どもにとっても大人にとっても安心でき、世代を超えてつながれる地域拠点です。年の近い中高生ボランティアに憧れ、同じように活躍してみたいという小学生も多いので、流れが途絶えないようになります。そして、ここでの体験やつながりを未来に役立てもらいたいと思います。

全部で17講座
開講しました



岡山市立上南公民館

上南の歴史を 次世代につなぐ 上南今昔絵図ウォーキング

【講座の目的と事業内容】

上南地区には干拓に関わる歴史や文化・史跡などが多く残され大切に守られているが、次世代への継承は充分にできていないため、様々な工夫が必要となります。そこで、その一助とするために令和2年に公民館講座で「上南今昔絵図」を作製しました。

令和3年には「上南歴史語り部養成講座」を実施し、地域の歴史を積極的に伝えていく人材育成を行いました。これは「上南歴史を伝える会」の発足につながり、令和3年度から「上南今昔絵図めぐりウォーキング」を公民館と共に実施しています。若い世代への継承を考え、中学生にボランティアでの参加を呼びかけました。令和7年度5月には地域を出て、上南地区が見渡せる芥子山登山を行い、自分たちの住むエリアを山頂から俯瞰してみるという体験をしました。

また、11月には沖新田の干拓に尽力した津田永忠が作った大名庭園「後楽園」を見学し、当時の庭園造営と洪水対策、その後の地域開発事業である新田開発について、その技術の一端を学びました。

このウォーキング事業は後楽園の回で9回目の実施でした。令和7年度は、歴史の語り部たちにとつては学びの多い年になったことだと思います。これから次世代への継承の力になることでしょう。



5月25日実施「干拓の歴史に思いをはせて」於芥子山



11月15日実施「干拓の歴史に思いをはせて(番外編)」於後楽園

岡山市立一宮公民館 中学生ボランティアグループ

サンクフル

THANK-FULL

～中学生がつくる公民館講座～

地域の中で育ち 地域とともに成長していく 中学生の育成

地域の一人としての自覚をもち 主体的に活動していく力を備えた 中学生の育成

地域の大人と中学生が ひとつになって活動することで学校と地域の協働を実現し

将来に向け地域活動が活性化することをめざします



今年度で3年目を迎えたサンクフル。登録者数は45人!全員が、自分から参加してみたい、何かに挑戦してみたいと申込んでくれました。



月に一度、公民館で定例会を行っています。地域の中で、やってみたいことを話し合い実際に向けて検討を重ねています。



夏休み※小学生対象の講座「ザ★キッズ!」では、運営スタッフとして大活躍♪



中学生たちが

活動を通して

普段の学校生活では

出会うことのできない

人達と出会い、時間を共有し、

そこで生まれたつながりが将来地域を支える人材として、また社会を生き抜く

一人として、その後の人生を豊かにするうえで

欠かせない財産のひとつとなることを願って活動をしています。

他にも、地域行事や児童館の行事へのボランティア参加も行っています。

今年度初めて、世代を超えた交流の場を企画、運営しました!!



2025 天体観望会 In 津高



◆講座の概要とねらい(解決したい地域課題)

市街地では、無数の光や照明が道や建物、そして夜空を照らしています。私たちの生活にとって光や照明は大切なものですですが、一方では「明るくて眠れない」「月や星などの天体観測ができない」「農作物が生育不良を起こす」といった悪い影響も指摘されています。このような悪影響を「光害(ひかりがい)」といいます。この光害のため、天体観望が十分にできるのは岡山市では津高地区以北だと言われています。私たちが暮らす地域の環境を知り、自然環境を大切する気持ちや地域への愛着を育む取組の一つが、私たちの「天体観望会 in 津高」です。



雨が降ったら講座室で星座や星の話を聞きます。



天体観望会は年に4回、「春」「夏」「秋」「冬」に実施しています。四季折々の星座を観察したり、月や地球から見える太陽系の惑星を観察したりしています。

望遠鏡を覗くと大人も子どもも「天体ロマン」「宇宙の神秘」に夢中になります。



太陽が沈むにつれ 津高の空に 次から次へと星が現れます

星が観察できる、ここ津高の自然を大切にしなきゃ。

うわぁ！ 北斗七星は思ったより大きいぞ。

空には、明るい星や暗い星がいっぱいあるんだね。



へえ～、金星はとても明るいな！

あっ！ 木星が見えた！

土星の輪がきれい！



おや？ あの赤い星は何だろう？

あれが「ひこ星」だよ！



福祉ボランティア入門

<ねらい>

地域に一人暮らしの高齢者が増え、自宅での介護や地域の福祉施設でも、車椅子の操作や清掃、作業療法の手伝いなど、地域住民によるボランティアが果たす役割は大きくなっています。しかし高齢化に伴いボランティアが減っています。地域の助け合いの輪を広げて、ボランティアが活躍する地域を目指します。

第1回 7月19日(土) 「ボランティアについて」



ボランティア活動を行う際、レクリエーションを通じて、お互いの信頼関係を築き、緊張を解きほぐす方法を楽しく学びました。

第2回 8月9日(土) 「高齢者と「もっとつながる」コミュニケーション術」

円滑なコミュニケーション方法は、相手の立場に立って考える、無理をしない、続けられる範囲で、学ぶ姿勢を持つことです！



◇受講者感想◇

笑顔であいさつするだけでも、心が近づくと感じました。

聞き上手になることが大切なんだと思いました。

第3回 9月13日(土) 「車椅子の移動、移乗のポイント＆福祉ボランティアの体験談」



車椅子利用者の方への配慮方法など、実際に車椅子を使用して説明していただきました。
福祉ボランティアの方からお話を伺いました。



ボランティア活動は、「明るく 楽しく いきいきと」行うことが大切です！と、教えていただきました。受講された皆さんからは、「自分自身の生活にも役立つこともあり、大変参考になりました」、「これからも楽しく活動できそうです」などの感想をいただきました。

ボランティア活動を通じて、地域を元気にしていける輪が少しずつ広がっています。

親子で集まろう♪

岡山市立吉備公民館

この指



と～まれ！



◆ねらい（解決したい課題）◆

吉備中学校区は、岡山市でも特に乳幼児数が多く、転出入者も多い状況です。そこで、子育てに不安を抱える保護者の孤立化を防ぐため、公民館・大学・地域が連携し、親子の仲間づくりや居場所づくりを進めています。

中国短期大学保育学科の学生による企画・運営

会場：中国短期大学
年5回



会場：吉備公民館
年5回



毎回、季節を感じる遊び・
歌・工作などを楽しみます。



ボランティアが見
守る中、親子で、
楽しく遊びます。

毎回、大学の先生による
「子育てミニ講座」があります。

公民館託児ボランティアグループ 「ワンステップきび」による企画・運営

◆効果◆

中国短期大学×地域×公民館が連携し、それぞれの持ち味を生かして、親子の地域デビューと仲間づくりの場、親が子育てについて理解を深める機会となっています。また、大学の授業の位置づけで、親子を受け入れることで、学生にとって実践的な学びの場となるとともに、公民館のボランティアにとっても、生きがいづくりの場となっています。

岡山市立妹尾公民館

チャレンジキッズ

◆前回の様子から

昨年度のアンケートで、災害に備えて家族や友だちとやってみたいことをきいたところ、紙食器づくりやかんたんランタンづくりと答えた参加者が多かった。身近な物を利用して、災害時に役立つ物自分で手作りできるようになることが課題の一つとして考えられた。また、地震だけでなく、風水害についても学ぶ機会が必要であると思われた。

◆内容

第1回 5つの風水害体験

地域の防災士や
中学生ボランティアも
大活躍！



第2回 Bousai 博士の挑戦状

非常時には、どんな物があったらいいか、ラップや新聞紙、カセットコンロなどをどんなふうに使ったらいいか、みんなで考えました。

非常に役立つ簡単蒸しパンと一緒に作って食べました！



第3回 防災ゲーム & 防災グッズづくり

中学生のお兄さん、お姉さんといっしょにゲームで楽しく防災について学び、ペットボトルを利用したランタンや新聞紙で食器を作りました。

◆講座を終えて

講座終了後、「水圧のドアの体験では、30cmとかだったら楽勝だけど、50cmとかになったらびくともしないことがわかった。そういうことになる前に逃げるということが大切だと分かった。」「自分の防災バッグを作ろうと思った。」という感想があった。災害について身をもって認識し、自分でできることを考えるきっかけになったと思われる。中学生も積極的に活動し、自身の災害に対する備えをレベルアップすることにつながったようである。



岡山市立福田公民館

地域のミドルリーダーとして活躍したい中学生ボランティアが集いました！

ボランティア自身が命名した集団名は **FUKUDA ミドルリーダーズ**

◆ ねらい（解決したい地域課題）

中学生の「地域の3世代交流イベントの交流場面が物足りない。」「大人や年下の子供たちと交流が少ない上に、1中学校区に1小学校という地域性から同世代の新たな出会いが無い。」などの声に公民館が着目。そこで、公民館を拠点に、そうした思いをもった中学生を地域のミドルリーダーとして育み、彼らが後に地域の牽引力として活躍できる人材となるようサポートする。

◆ 活動の様子

まずは、
チームビルディング



↑活動に行き詰まつたら、
この約束に立ち戻ろう！



同志による約束【イラスト内(チーム性向上のために取り組むこと)／イラスト外(チーム性向上のために排除すること)】をまとめ、全員で確認したという意思表示をネームラインにし、イラストを枠取りました。

いろいろな

経験を積もう！



公民館のディスコンサークルクラブ講座(全国大会優勝)の講座生の方からディスコンを学びました。



イベントを盛り上げるために、着ぐるみを借りてきて、中に入つてみると参加者に大受けでした。

公民館主催講座「子ども遊びリンクピック」の企画・運営に加わり、事業に取り組む醍醐味を味わいました。

ボランティア活動を通して、
FUKUDA ミドルリーダーズ
の自尊感情は徐々に高まりつつあります。



キーワード

「何をするか」ではなくて
「何のためにするか」

◆ 効果（FUKUDA ミドルリーダーズの声）

例年1月に開催される地域恒例行事「3世代きらり交流会」に、FUKUDA ミドルリーダーズが3世代編成チームによる「ディスコン交流会」を提案し、採用されました。メンバーは自分たちの意見が認められ、地域を動かせたことに感動するとともに大きな自信をもちました。

メンバーは、当日に向けての企画と準備を進めており、結果次第では、次回は大会に発展させ、さらに3世代交流を盛り上げたいと意気込んでいます。

＼自分の持ってきた本を黙々と読む、新しいスタイルの読書会／

じょうとうブッククラブ

ねらい

- ・R3年12月の新築移転およびR4年10月からのインターネット予約図書受け取り開始にともない、図書コーナーの利用者数・貸し出し数が増加しました。予約図書の受け取りのみにとどまらず、読書を入り口として、公民館事業の新たな参加者を増やすことをめざします。
- ・市民が本に親しむことにより豊かな心を育み、本を中心とした、誰もが気軽に参加できるゆる~いコミュニティ作りをすすめます。

活動の様子

参加者が自分の好きな本を持ち寄り、1時間ほど静かに読書を楽しめます。
よくある読書会のような課題図書の指定や意見交換の時間はありません。

○時間割

13:30～ 持ち寄った本の撮影など

どんな本を持ってきたの？



14:00～ 静かに読書(おしゃべりNGタイム)



その作家、今度読んでみようかな

15:00～ まわりの人と話してもよいし、読み続けてもよい

効果

- ・当館の利用が初めての方や図書の利用のみだった方の参加があり、さらに参加者の口コミで少しづつ輪が広がっています。
- ・読書は参加者一人一人の行為ですが、同じ空間と時間を共有することで、つながりができ、共感力を養うことができます。おしゃべりOKタイムでは、好きな作家や書評・読書系動画チャンネルを紹介しあうなどの情報交換が見られました。

岡山市立興除公民館

「興除男結!!ケアメンジャー」

◆ねらい（解決したい地域課題）

男性介護者の交流や情報交換の場を持つことで、男性介護者の孤立の解消を目指す。また、介護問題が深刻化する前に周囲への協力を求め、つながることができる仕組みづくりをする。

この会は、認知症などの家族を介護している男性が介護について
お互い話をしたり、専門職にちょっとしたアドバイスをもらえる場です。

◆活動の様子



介護されてる方が「本音」で話せる場所
です。



皆さんの近況報告や情報交換をしていま
す。あっという間に時間が過ぎていきます。

◆効果

令和5年度に始まり、現在は毎月1回第3月曜日の午前中に開催しています。ご家庭で認知症などの家族を介護している男性介護者が集まって、座談会で日頃の介護の取り組みで困ったことや悩んだことをお互いに話し合う活動とともに、岡山市地域包括支援センター等の介護に関わる職員からも助言を受けたりしています。日頃の大変さや喜びを共有することで、一人で抱える介護ではなくなり、「仲間づくりの場」にもなっています。

足守公民館



暮らしのちょっととした困りごと
お助けします！

生活サポート「チームねこの手」

♡ねらい(解決したい地域課題)

高齢化率43.6%の足守地区は、数字が示す通り高齢者世帯や一人暮らしのお年寄りが多い地区です。医療機関や福祉施設は充実していますが、日常生活の中で、業者に頼むほどでもない、ヘルパーに依頼できることでもない、ちょっとした困りごとには対応しきれていません。

そこで、近所の人同士、また地域の人たちと助け合うことが必要です。

♡チーム結成のきっかけ

令和元年、社会福祉協議会・足守公民館共催の「生活支援センター養成講座」の受講生が中心になって立ち上げました。コロナ禍を経て、令和3年4月より、足守公民館を事務局にして活動しています。



♡活動の様子

足守中学校区在住のおおむね80歳以上の高齢者世帯や、一人暮らしで障害のある方などが対象。庭の草取りや、庭木の剪定、ゴミ出しや室内の清掃、電球の交換などの依頼に応じています。

助けてほしいことがあれば、まず足守公民館に申し込んでいただき、公民館からセンターに呼びかけ、複数人で依頼主のお宅に伺い頼まれごとを引き受けています。

1時間でできること、作業内容によって100円から500円の利用料をいただいている。

◆岡山市社会福祉協議会の岡山市支えあい活動に登録し、地域の町内会や民生委員の方の応援もいただいている。

♡利用者の声

●一人暮らしの話し相手になっていただいて嬉しかったです。部屋をきれいにしていただき感激しました。

●助かりました。感謝しかありません。

♡メンバーの声

●地域の方のお役に立ちたい、自分自身も年々歳を重ねていっているので、お互いさまの気持ちで助け合って暮らしていきたい、との思いで活動を続けています。

●仲間や地域の人との交流ができ、人の役に立てることに喜びを感じられます。

●現在メンバーは11人、新しい人、大歓迎です！



岡山市立藤田公民館 ふじた健康21 夕焼けウォーク

★ ねらい

自分の健康にもっと関心をもち、一人ひとりが健康づくりに主体的に取り組む。
地域で健康づくりの輪が広がり、みんなが健康づくりをとおして顔見知りになる。

★ 活動の様子



親睦を深めるため、ウォーキング前に中高生ボランティア「藤田を楽しくし隊！」のメンバーが楽しいレクリエーションをしてくれました！



市民体操で
ウォーミングアップ！



ウォーキングへ出発！



ふじたとんとん食堂のみなさんが、地産地消野菜たっぷりカレーを作ってくださいました！
体を動かしたあと、みんなで食べるとおいしいです！



★ 効果

子どもから高齢者まで楽しめるよう、「中高生ボランティア藤田を楽しくし隊！」のみんなが楽しいレクリエーションを考えてくれたり、「藤田パトロール隊」のみなさんが道路で見守つてくださったり、「ふじたとんとん食堂」のみなさんがおいしいカレーを作ってくださいたりと、地域ぐるみで協力して健康づくりを進めていき、交流も深めることができた。

岡山市立大元公民館 みんなが困らない防災～男女共同参画の視点から～

◆ねらい

出石地区・鹿田学区・大元学区は、多くのマンションが建ち、従前からの住民と新しく移住して来た住民が入り混じっており、男女共同に対する価値観も多種多様である。そこで、過去の事例を男女共同参画の視点から学び、避難所や災害時の男女共同参画について考えることで、誰も取り残さない地域をつくることを目指す。

◆活動の様子

第1回 女性だから見えてきた防災対策

～西日本豪雨災害の後悔を力に変えて～

講師：川辺復興プロジェクトあるく代表 横原聰美さん



西日本豪雨時、真備の被災現場で起こったことや、その復興への取り組みから、男女にかかわらず世代を超えて協力できる災害対応について学んだ。

第3回 我が家でもできる防災対策

講師：NPO 法人まちづくり推進機構岡山代表 德田恭子さん



ハザードマップの見方や、地震・風水害にあった対策の仕方、自分に必要な物を準備しておくこと、個人・地域で「受援力」をつけるためのヒントを学んだ。

第2回 男性も女性も困らない災害対応の話

講師：関西国際大学客員教授 斎藤容子さん



災害時や災害に備える段階で必要な人権意識についてや、災害関連死や性に関する暴力を防ぐことを例に、避難所で女性の視点が必要であることを学んだ。

第4回 避難所を体験してみよう～HUGを通して～

講師：岡山防災ボランティアネットワーク 森田 靖さん



公民館の図面を使ってHUGを行った。第3回までに学んだことを活かして、災害関連死の防止や女性の視点を意識しながら、避難者の割り振りを行った。

◆効果（参加者の声等）

第1回から第4回までの講座を通して、「『命だけでなく、心を守る』という言葉の大切さを感じた。」「災害そのものから逃れることができても、その後の避難生活の仕方での災害関連死が多い。」

「様々な立場の人のことを考えた防災を考えることの大切さを学んだ。」「日頃から訓練することの大切さ、人間関係を作つておくことの大切さを学んだ。」等、一人だけでなく、多くの人と助け合つて災害から身を守ることの大切さや、様々な立場の人のことを考えた避難所の運営の大切さに気づくとともに、日頃からの訓練への意欲も高まったように感じた。

岡山市立東公民館

福祉フェスティバル

～「たすけて」と言える繋がり作り～

◆ねらい

多くの市民に障がいの特性や、かかわり方、またその生活を知ってもらうことで、障がい児(者)が地域で暮らし、育つていける環境作りを目的としたイベントを行う。また、車いすやアイマスクを着用しての白杖体験や障がいや防災に関する情報の展示、岡山東支援学校・岡山盲学校の生徒の作品展示などを通して、障がいや支援学校のことを知るきっかけづくりとする。

オリジナルの作品を作ろう！ 遊びのコーナー



みんなで体験してみよう！ 障がい体験コーナー

点字ブロックは2種類あります

みんなで歌おう！踊ろう！ コンサートコーナー



障がいや防災情報をたくさん展示 情報コーナー



防災士リリーさんとともに

岡山東支援学校と岡山 盲学校の作品展示

◆参加者の感想

「障がいのある方と地域の方が一緒に発表したり、運営も一緒にしたりしていく、当たり前の感じがステキだった。」「車椅子や視覚障がい者体験は、自分はいつも介助者側なので、貴重な体験が出来ました。」

◆効果

実行委員会を立ち上げ、福祉に関わる人や団体がつながることで開催へつながっていきました。当日好評だったコンサートコーナーが12月開催予定の「みんなスター～パフォーマーさん大集合編～」へつながりました。





文学創造都市 おかやま

岡山市立南公民館

協力 南公民館クラブ講座「芳泉読書会」

坪田譲治文学の魅力と 岡山ゆかりの作品

【ねらい】地元岡山の文学作家の作品に触れることで、作品を通して地元岡山の魅力を再発見し、地域への愛着を深めるとともに誇りを持ち、住み続けたいまちづくり、持続可能な地域づくりにつなげる。



作品を通して岡山の魅力を再発見
地域への愛着を深め、住み続けたいまちづくり
への機運を醸成

ノートルダム清心女子大学 山根知子先生による、写真や資料を用いたわかりやすい講話を聞きして理解を深めました。

岡山芳泉高校美術部と南公民館クラブ
講座「芳泉読書会」によるロビー展示

絵画・DVD「坪田譲治 子ども12か月」
ツボジョーの作品や、坪田譲治文学賞受賞作品を展示して、参加者に多角的に魅力を伝えました。



成果

ノートルダム清心女子大学 文学部日本語日本文学科 教授の山根知子さんをお招きし、講演会を実施しました。当日は、高校生から大人まで幅広い層の参加がありました。開催に当たっては、当館クラブ講座「芳泉読書会」に協力いただきました。同時開催のロビー展で、芳泉高校美術部による「坪田譲治子ども12か月」の絵画作品とDVD作品を展示・上映し、第1回～最新の坪田譲治文学賞受賞作品や、坪田譲治の作品も展示して、参加者の方に多角的に坪田譲治の魅力を感じていただくことができました。

お話を、写真や資料を用いてとてもわかりやすい内容で、参加された方もとても満足されていました。参加者の感想からは、「坪田譲治さんは知っていましたが、作品や人となりを初めて知りました。三部作をはじめ、『坪田譲治文学賞』に輝いた作品群を読んで岡山の良さを味わってみたいと思いました」「資料が豊富で講演がとてもわかりやすく、ツボジョーの知らなかった世界を多く知ることができ、大変有意義でした。文学は心の栄養。また参加したいです。」といった声をいただきました。

令和7年度 岡山市立旭東公民館 主催講座

サマー☆チャレンジ

◆ねらい（世代間で連携しよう、環境を守ろう）

- ・小学生が、地域の中学校の生徒や大人から指導や手助けを受け、さまざまな体験をする。それらを通して、異なる世代の人と接し、コミュニケーション能力を養い、達成感を自信につなげ、大人に対する信頼感を持ち、成長の糧とする。
- ・講師役である中学生自身が環境について学んだことを主体的に小学生に伝える機会とする。

「ゲームを通して環境問題を考えよう」

環境問題や SDGsについて 楽しく学びました

海にゴミが増えると魚が減ってしまうことを、小学生と一緒に学び、良い活動ができた。
(ゴミつりブース担当の中学生の感想)

ゴミ釣りゲーム



「茶道部の生徒が茶会を開催」

日本文化の一端に触れました



中学生の説明が分かりやすかった！（小学生の感想）

「岡山空襲と戦争～岡山空襲の体験談を聞こう～」

戦争について考える貴重な機会となりました

私は岡山空襲展に行きました。そこで、いろいろな物を見ましたが、この講座でしか分からぬことがたくさんありました。この経験を無駄にしないように、平和な世界に生まれたからこそ、「平和」というものに、とてもありがたみを感じました。（小学生の感想より抜粋）



地域に住む90代の方が、岡山空襲の体験を話してくれました。